

株式会社 ユニコーン 様

寄贈井戸完成報告・写真

Bangladesh, Barisal District, Amboilla Village, Agaizara Upazilla, Barisal District, Bangladesh

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5階

TEL (06) 6444-0587

FAX (06) 6444-0581

E-Mail: asia@jafs.or.jp

URL: <http://www.jafs.or.jp>

寄贈者

株式会社 ユニコーン 様

●完成年

2012年9月20日

●現地提携団体

Basic Development Partners (BDP)

●寄贈場所

バングラデシュ、ポリシャル県アゴイザラ地区アンボイラ村
Amboilla Village, Agaizara Upazilla, Barisal district, Bangladesh

●受益者

200人(50世帯)

●井戸の形式

ポンプ式井戸

●村の状況

稲刈りや野菜を作ったり、日々の生産活動や小規模ビジネスを行っている村人の平均収入は、1日1人3.25\$です。アンボイラ村には、350人(88世帯)もの村人が暮らしています。この村の人たちは農業に従事しており、稲作による米収穫が殆どです。収穫の殆どは自給用であり、豊作時には市場にて販売するなどをして生活を送っています。現金収入が少ないために、住民たちは養鶏や果樹栽培をするなどして副収入を得ています。家庭菜園にて収穫できる野菜類も高く販売できるために、市場にて売りに出しています。ですが、そのような生活の影響で、自らが収穫した野菜類を食べることができないという矛盾も発生しています。

このたびの井戸が完成するまでは、村人たちは、遠距離にある私有井戸にて水くみに出かけていました。私有の井戸だったために水くみに時間制限がかけられており、必要な時に水がくめなかったりしました。また遠距離だったために大変な重労働でした。その上ため池の水で皿類を洗浄するために、水が起因の下痢などにて体調を崩すことも多々ありました。

この度、アンボイラ村に井戸が完成して、村の住民たちは、遠距離まで水くみに行く必要がなくなりました。時間制限もなく、水くみの重労働や生活の困難が取り除かれました。また、ため池の水で皿類の洗浄する必要がなくなり、健康が改善されることが期待されます。

●村人の声

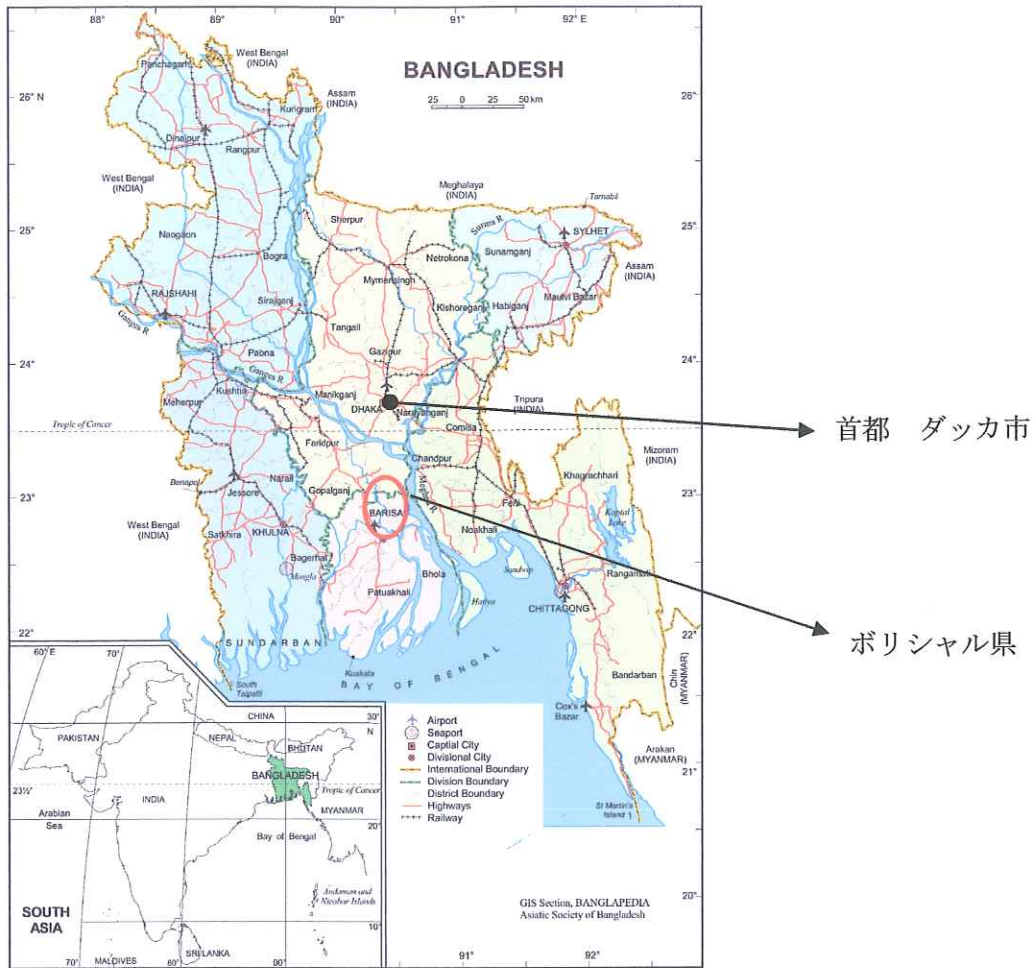
アンボイラ村の住民一同は、井戸の完成を心より喜んでいますが、このポンプ式井戸を寄贈してくださった株式会社 ユニコーンの皆様に心より感謝しています。私たちは、これ以上、安全な水へのアクセスが原因の生活の困難や不衛生な水が原因の病気に悩まされることもなくなりました。生活の向上に向けて一つ動き出すことができました。子どもたちにも安心してこの水を使うように勧めることができます。この地域ではポンプ式井戸の必要性はとても大きいです。また困っている人たちのために今後ともご支援いただければ嬉しいです。

皆様のご支援のおかげで、私たちは健康に過ごすことができます。皆様へ心より感謝申し上げます。

我々バングラデシュ人は、寛大な日本の皆様、特に株式会社 ユニコーンの皆様と、JAFSの皆様のご健康とご多幸、そしてその働きにおいてのご成功をお祈り申し上げます。

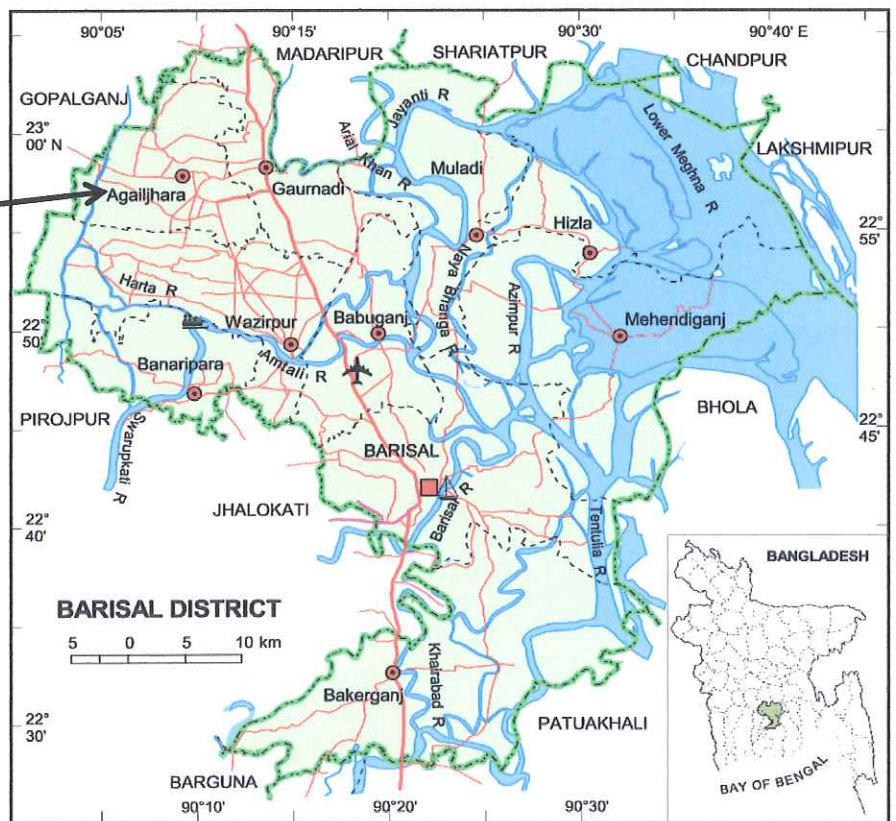
●井戸の建設位置

バングラデシュの地図



ボリシャル県地図

アゴイザラ地区





HO

HO



1

NO.



NO.





NO.

NO.



NO.

NO.